

# 思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題づくりのヒント<社会>

定期考査は、生徒の学習状況を把握し、学習指導の改善・充実を図る大変重要なものです。次に示す【ステップ①】～【ステップ⑤】の定期考査問題づくりの構造を踏まえ、問題づくりに取り組みましょう。

## 定期考査問題づくりの構造

【ステップ①】出題のねらいを明らかにします。

【ステップ②】期待する正答を作成します。

単元の学習に係る学習指導要領の目標と内容を、「解説」をもとに、明確にします。

【ステップ③】知識・技能の内容を明らかにします。

【ステップ④】思考・判断・表現の方法を明らかにします。

【ステップ⑤】知識・技能を活用して、思考・判断・表現する場面や問い方を設定します。

ここでは、令和3年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査問題（社会）の大問②問3を用いて、主に基礎的・基本的な内容を問う問題と主に思考力・判断力・表現力を問う問題について解説します。

2 健太さんは、近代以降のわが国と世界の産業や経済に関するおもなできごとをカードにまとめた。カードをみて、各問に答えよ。

〈カード〉

A ①清との戦争の賠償金の一部を使い、官営八幡製鉄所が設立された。

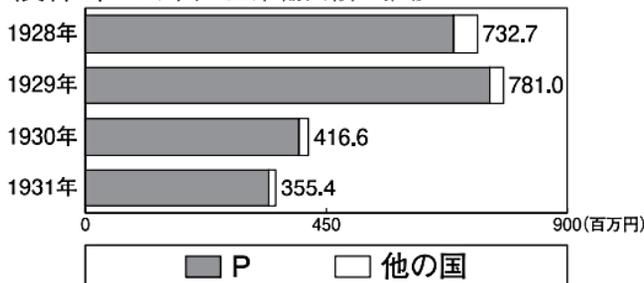
B わが国で、②高度経済成長が始まり、技術革新が進んだ。

C わが国で初めての鉄道が、新橋・横浜間に開通した。

D ③Pで株価が暴落し、世界恐慌が始まった。

問3 健太さんは、下線部③の前後の時期について調べ、資料Ⅱを作成した。下線部③が、わが国の生糸の貿易に与えた影響を、資料Ⅱから読み取り、Dのカード、資料ⅡのPにあてはまる国名を使って書け。

〈資料Ⅱ〉 わが国の生糸輸出額の推移



〔「日本貿易精覧」から作成〕

福岡県内の中学校において出題された思考力・判断力・表現力等を問う定期考査問題を義務教育課のHPで紹介しています。校内研修等を通して、授業改善を核とした学力向上の取組に活用してください。

義務教育課各種資料

検索

クリック!



※閲覧するにはパスワードが必要です。義務教育課が送付した各市町村教育委員会教育長宛て文書（3教義第426号令和3年4月30日）を確認してください。

|                            | 主に基礎的・基本的な内容を問う問題  | 主に思考力・判断力・表現力を問う問題  |
|----------------------------|--|---|
| 【ステップ①】<br>ねらいの<br>明確化     | カードDの内容と資料Ⅱに示された年代から、 <b>世界恐慌がいつ、どこで始まったかを理解しているかどうかをみる。</b> | 資料Ⅱの生糸の輸出額の推移から、 <b>わが国の生糸輸出額の変化をとらえ、世界恐慌がわが国の生糸の貿易に与えた影響を説明</b> することができるかどうかをみる。 |
| 問題                         | Dのカードの下線部③の「P」と資料Ⅱの「P」に共通してあてはまる国名を書け。                       | 下線部③がわが国の生糸の貿易に与えた影響を、資料Ⅱから読み取り、Dのカード、資料ⅡのPにあてはまる国名を使って書け。                        |
| 【ステップ②】<br>期待する<br>正答の作成   | アメリカ(合衆国)  | 生糸の最大の貿易相手国であるアメリカへの生糸輸出額が大きく減少した。  |
| 【ステップ③】<br>必要な知識・<br>技能の内容 | 世界恐慌がニューヨークのウォール街の株価の暴落によって始まったことに関する <b>知識・技能</b>           | 年代、推移や変化に着目して資料から情報を読み取る <b>技能</b> と、世界恐慌を背景としたわが国の経済の混乱についての <b>知識</b>           |

#### 【ステップ④】思考・判断・表現の方法

1929年前後のわが国の年ごとの生糸の輸出額を**比較**し、輸出額の変化と世界恐慌の関連を**考察**し、世界恐慌がわが国の貿易に与えた影響を**説明**させる。

#### 【ステップ⑤】場面や問い方の工夫

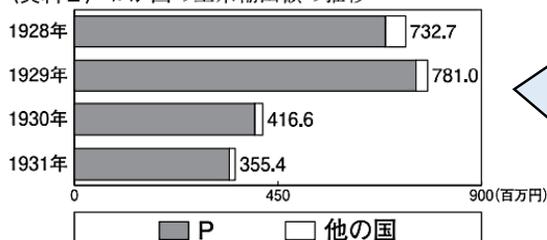
下線部③が、**わが国の生糸の貿易に与えた影響を**、資料Ⅱから読み取り、Dのカード、資料ⅡのPに**あてはまる国名を使って書け**。

〈カード〉

D

③Pで株価が暴落し、世界恐慌が始まった。

〈資料Ⅱ〉 わが国の生糸輸出額の推移



(「日本貿易精覧」から作成)

#### 「語句を指定」することで

- カードと資料Ⅱに共通する「P」の国名を指定語句にすることで、世界恐慌前後の「P」の国とわが国との関係に着目するように促すことができます。

#### 「カードとグラフで史実を提示」することで

- 「P」の国で株価の暴落が起こった1929年を境に、わが国の生糸輸出額が大きく減少した事実を読み取ることができます。
- 「P」の国が、昭和初期のわが国最大の生糸の輸出相手国であることと、その「P」の国への生糸輸出額が大きく減少していることを読み取ることができます。

#### 「下線部③が与えた影響を、読み取り書けと問う」ことで

- カードの内容と資料Ⅱから読み取れることの間を考察するよう促し、1930年にわが国の生糸輸出額が大きく減少した背景には、わが国最大の生糸の輸出相手国であったアメリカの恐慌という経済的な混乱があることを説明できるようにします。